

予算決算委員会会議記録

1. 日 時	令和6年9月17日（火）9：30～13：18
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	堀毛宏章委員長、降矢杏奈副委員長、金崎美和委員、 原田豊彦委員、本多紀元委員、岡圭子委員、荒木礼子委員、 桐村裕一委員、小畠政行委員、隅田雅春委員、渡辺拓道委員、 稲山悟委員、野々村康委員、安井博幸委員、大内正博委員、 向井千尋委員、上田英樹委員
4. 欠席議員	前田えり子委員
5. 参考人	
6. 傍聴人	
7. 協議事項	<p>議案第60号 令和6年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）</p> <p>議案第61号 令和6年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）</p> <p>議案第62号 令和6年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）</p> <p>議案第63号 令和6年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第1号）</p> <p>議案第64号 令和6年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第1号）</p> <p>議案第65号 令和6年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第1号）</p>
8. 議事の経過	<p>堀毛委員長 挨拶</p> <p>堀毛委員長 開議宣告</p> <p>9：30 開議</p> <p><b>総務文教分科会座長報告</b></p> <p>■議案第60号 令和6年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）</p> <p>原田座長より報告（別添参照）後、質疑応答。</p> <p style="text-align: center;">＜主な質疑応答等＞</p> <p>隅田委員 電子計算費に関し、デカンショポイント事業による地域活性化を掲げ、地域ポイントアプリの登録者1,000人、加盟店舗50店舗を目標としているとのことであるが、いつまでに達成するというような回答であったのか。</p>

原田座長

今年度の予算計上であるため、3月末までの目標数値と考えている。

### 民生福祉分科会座長報告

■議案第60号 令和6年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

議案第61号 令和6年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

議案第62号 令和6年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第63号 令和6年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第1号）

稲山座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

#### <主な質疑応答等>

隅田委員

自動録音電話機普及促進事業について、目標は1,000世帯ではなく、特殊詐欺を防ぐことだという説明があったとのことですが、単一世帯、ひとり住まいの高齢者の方が広報等で見つけて設置しようかなと思うのはなかなか難しいことだと思います。だから、自治会長や民生委員と一緒に歩いて、こういう制度がありますよ、お宅も自動録音電話機を設置されたらどうですかというような、1件1件の普及活動が必要だと思うんですが、そのような説明、そういうことが必要だというような意見はあったのでしょうか。

稲山座長

1,000台が目標ということでございますが、これまでの申請状況を踏まえて補正を計上しているということでした。その説明のなかで、本年度は民生委員の支部長会、自治会長会の総会、ホームページ等で啓発を行った結果増えてきたということです。今後につきましては、県あるいは防犯協会と協力をしながら、10月の防犯キャンペーンあるいは11月にある市民の集いにおいて、自動録音電話機の普及啓発にさらに力を入れていきたいということで、当局からは説明いただいております。

安井委員

予防費に関して、10月から高齢者などを対象にした新型コロナワクチンの定期接種が始まろうとしているわけなんですけども、今回使用が予定されているワクチンというのはレプリコンと呼ばれるコストベイン筋注用であるわけです。この次世代型mRNAは昨年11月に他国に先駆けて日本で初めて承認されましたが、8月末現在でも世界で日本でしか承認されていないワクチンです。医療機関関係者の一部などから懸念が表明されており、ワクチン接種に関しては心配する声が耳に届いています。分科会ではこのワクチンに関する懸念というようなことに対する議論はなかったのでしょうか。

稲山座長

分科会の審査におきまして、ワクチンの種類に関する議論は出ており

ません。

隅田委員

過疎対策事業債は村雲の旧保健センターの改築工事の費用ですが、令和5年に工事費の補助金を過疎地域持続的発展補助金から出してもらっています。今の報告では全国で数件しか当たらないというようなことだったんですが、工事設計代金で当たった事業が本工事で外れるなんてことがあるのかなと思っているんですが、その辺りの説明はあったんでしょうか。

稲山座長

今ご質問のあったような内容について、審査の中で説明は出ておりません。

### 産業建設分科会座長報告

■議案第60号 令和6年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

議案第64号 令和6年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第1号）

議案第65号 令和6年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第1号）

荒木座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

<主な質疑応答等>

— 質疑なし —

### 議員間討議

堀毛委員長

討論、表決に入る前に、全体を通して何か御意見はありませんか。疑義がある場合、市長に確認しておきたい事項があれば上げていただきたいと思います。

安井委員

先ほど私が質問しました衛生費の中の予防費におきまして、新型コロナウイルスのワクチンに関して、分科会では全く議論がされていないわけなんですけども、10月からワクチン接種が始まろうとしています。これは新しいワクチンでしてベトナムやアメリカでも治験はされましたけども承認されなかったワクチンで日本だけが承認されているんです。非常に弊害を懸念する医療関係者の声も出ておりますので、これを僕は国の厚生省なりが、こういう予算をつけて自治体にしなさいということに来てるんだと思うんですけども、でもこれは非常に拙速じゃないかと思いますので、私はこれは問題があると思うんですが、ほかの議員の皆さんの意見を聞きたいと思っ

ています。

堀毛委員長

それではこの件に関しまして、ほかの委員から御意見がありましたらお願いします。

— 発言なし —

堀毛委員長

特にないようです。その他、市長に確認しておきたい事項がありましたら挙げていただきたいと思います。

隅田委員

地域アプリの件ですけども、これについては私も一般質問をして、いよいよ篠山でも始まるのかなと喜んではおるんですが、いま開始するに当たって非常に準備ができていないのではないかなと思っています。資源ゴミ回収から始めるということで、1回持っていったら5ポイント、5円ですよ。それが使えるところも、今聞いている段階では10店舗ぐらいということです。また、アプリの導入を1,000人まで増やすという目標があるらしいんですが、いつまでに、どのような形でするのかも分かりません。事業は来年度に30万ポイントという形で進めていくというような報告もありましたが、新しい施策であるにもかかわらず余りにもちょっと拙速な開始じゃないか。もう少し準備ができて市民の人たちも面白いことが始まるなというワクワクするような感じを持ってもらえればいいんですけども。健康ポイントにしても、まだ具体的には決まらないし、読書のこともまだこれからで資源回収ぐらいしかありません。新しい政策を進めるにしてはあまりにも準備ができていないと思うので、その辺り、市長に委員長のほうから、これを導入する目的と、どのような形で展開をしていこうと思っているのか。その辺りのことを聞いていただいたらうれしいと思うんですけど、いかがでしょうか。

堀毛委員長

先ほど安井委員のほうから、新型コロナワクチンの危険性が十分に解消されているとは言えないという意見がありました。次に隅田委員よりアプリの開始が拙速ではないか、もう少しきちっと制度設計をした上で開始すべきではないか、この2点について、いずれも市長に確認しておきたい事項という意見であると認識してよろしいのでしょうか。

安井委員

はい。

隅田委員

はい。

堀毛委員長

まず安井委員の御意見に対して全体の総意として市長への確認質問をするのであれば、他の方の意見を求めたいと思います。

向井委員

安井委員のワクチンについて、稲山座長の報告と若干相違がある

稲山委員	<p>ように思うんですけども、その辺り稲山座長はどういうふうにお考えでしょうか。</p> <p>座長報告させていただいたとおり、そういった質疑も出ておりませんので、市長への総括質問はまだ早いのかなと思うので、もうちょっと詳しく民生福祉常任委員会のほうで調べたほうがいいのかと私は思っております。</p>
向井委員	<p>安井委員からは慎重にということでしたけども、民生福祉分科会としては、どちらかといえば啓発していこうという内容の座長報告があったので、この辺りの相違をどんなふうに予算決算委員会でまとめるのかなと思ったんですけども、稲山座長が報告されたとおり、基本的にワクチン接種は任意で強制するものではない。しかし、安井委員が言われたように慎重にという思いもありますから、ここはもう一度、所管の委員会でしっかり注視していただくという方向でもいいのかと思います。</p>
荒木委員	<p>ワクチンに関してですが、コロナワクチンを乳幼児から接種ができるようになったと思うんですけど、私の記憶では丹波篠山市長は接種を推奨しない、慎重にするみたいな対応をされたような記憶があるんですけど、どうだったのでしょうか。そのような対応をされる市長であれば弊害について、まだ国会のほうでも質問書が出たりしている、秋以降のレプリコンワクチンに関して、もう少し慎重に考えていってもいいのではないかなと思いました。</p>
向井委員	<p>乳幼児の接種に関しては、そのとき市長は接種券を送らなかったという判断をされていました。今回のワクチン接種の予算ということとはちょっと違うのかなと思います。</p>
金崎委員	<p>レプリコンワクチンについてですけども、何人かの市民の方から慎重にしてほしいという御意見をお伺いしております。やっぱり日本でしか承認されていないということで、少し気がかりなこともあります。</p>
小島委員	<p>民生福祉のほうでワクチンについて審査をさせていただきました。今の話も大事かとは思いますが、国が市へ支援をしようとしている事業に対して今回予算を審査したということで、その辺りを御理解頂ければと思います。これについては皆さんが言うておられるように任意というところもあるので、その辺りの判断もまた市民の方にしていただけるかと思います。慎重にという御意見がありますけど、それを市長に答弁求めても、たぶん国の方針として予算を上程しているという回答になるかと思うので、その辺り御理</p>

解頂けたらと思います。

渡辺委員

市民の中に不安があるというのは確かであると思います。一方、先ほど小島委員が言われたような形で、丹波篠山市だけで予算を組んでいるということではなく国の大きな流れの中でそうなっている。ただ、丹波篠山市でそれを推奨していくことについては、やっぱり不安があるということであるなら、予算組みはするとして、その実施に当たっては、積極的に啓発していくのかどうかについてはいろいろな情報収集をしっかりとして、慎重に事業に当たってもらいたいという内容の意見を委員会として委員長報告していただくという形でもいいのかなと思います。今回は市長に質問するというのではなくて、一定、議会のほうとして慎重さが必要ですよという意思を伝える方法でもいいのかなと思っています。

上田委員

私も渡辺委員と同じ意見です。今、安井委員のほうから日本でしか承認されていないので危険性のあるワクチンだと。また、金崎委員のほうから市民には不安に思っておられる方もおられるということですが、まだ今の段階で、これが本当に危険なワクチンなのか、実際私たちでは確認の仕方もございますので、今言われたように、市長への確認質問をしてもそこまで出てこないかと思っています。委員長報告の中で、このような意見が出ていたので慎重に取り組んで頂きたいという方法が私は1番、委員会の選択としていいのではないかなと考えます。

堀毛委員長

ほかに意見はありますか。民生福祉分科会ではワクチンの安全性については全く議論の対象にならなかったということで、ワクチンの予算について可とするということで結論が出ております。ただ、安井委員のワクチンの安全性についての疑問が出されまして、皆さんの意見をお聞きいたしましたけれども、全体の総意としてはいかがでしょうか。市長に対して確認質問はちょっと時期早々じゃないか。その代わり予算決算委員長の委員長報告として、各委員から、ワクチンの安全性に対する懸念が表明されたということを委員長報告の中に入れるということで了解を頂けますでしょうか。

— 異議なし —

堀毛委員長

はい、ありがとうございます。それでは安井委員の意見につきましては委員長報告の中に懸念を表明するというところで決定をしたいと思います。委員長報告の内容につきましては、委員長、副委員長にお任せ頂きますでしょうか。

— 異議なし —

堀毛委員長

はい、ありがとうございます。もう1点、隅田委員のほうから出ましたアプリの件ですが、制度設計がきちんと行われていない段階での実施は拙速ではないかという意見が出ました。

隅田委員

委員会の中でも言われたこの専用のアプリの導入と50店舗で使えるというところまでは実現をしていただきたいというのがあったのと、もう9月末ぐらいから資源ごみの拠点回収が始まると思うんですね。それも市民の動機づけとしては薄い。ゴミを持っていったら5ポイントもらえるということで、1年間やっても60ポイントぐらいですし、新しい事業にしては、ちょっと市民の心を動かすところまでいかないレベルでの出発というふうに思いますので、もうちょっと体制が整ってからのほうが市民の間にも面白いなと思ってもらえる形でと思ったりするものですから、ちょっと担当各課の事業が整わない、またアプリもまだダウンロードこれからという中で、どれだけの人がアプリを導入されるのか分からない。事業自体もまだ市民の中では話題にもなっておりませんし、ちょっと拙速じゃないかなというふうに思うので、そこの辺りを市長に聞いていただければと思うんです。

堀毛委員長

隅田委員からは、今回のアプリ、もう少しきちっと、加盟店の応募あるいは登録者がきちっと確保できてから進めるべきではないかという意見ですが、ほかの方の意見はいかがでしょうか。

本多委員

準備のほうのところというところ、これが実際、準備不足なのか、そもそもニーズがないのかっていうところも検討するべきかなと思います。実際、部署のほうでも説明会等をされているという上での加盟店舗数も10店舗ということで、そもそも需要があるのかっていうところも含めて検討頂きたいと思いますし、もしニーズがないのであれば幾ら準備したとしても登録者も増えないまま運用費等かかっていってしまうということもあると思うので、これはどこにデッドラインを引くのか。どの段階で撤退するのかっていうのも含めて検討はしていくべきかなと思います。あとはアプリが始まるのが9月下旬ということで、ものがないことには認知も広まらないのかなあとしますので、そこも含めて、どのようにPRしていくかといった点についても検討を行っていただきたいなというふうに思います。

堀毛委員長

総務文教分科会では、当局の説明に対し一定の条件を付して、条件というのは目標達成に向けさらに努めていただきたいということなんですけれども、分科会としては承認したということになって

渡辺委員	<p>おります。それに対して隅田委員のほうから時期尚早ではないか。本多委員のほうからはニーズがあるのかという、ちょっと、もう1回スタート時点に戻したような意見になってきたんですが、どうでしょうか。</p> <p>総務文教常任委員長にちょっとお聞きしたいのですが、今回、資料としては1枚ものの資料が上がっているということですが、今回の審査ではなくても、これまでに、このことについて幾らか、どういう形でやっていくとかの資料提示なり、こういうスキームで、こういう目標でやっていくというような資料的なものが何か提示されたことはあったのでしょうか。あったらその辺りも拝見させてもらいたいと思います。</p>
原田委員	<p>分科会の中で資料提供を受けたのは、今回のカラーの資料のみであります。ただいろいろと協議した中でポイント事業は販売促進事業に使うポイント事業というのをベースに考えているんですけども、それにさらに行政の力を借りて、相乗効果がある事業であるということは認識しております。事業の内容としては、分科会としては推し進めてもよいというふうに合意したんですけども、先ほどの隅田委員の考えられる準備不足ではないかという意見はもう十分、理解できる意見やというふうにも認識をしております。</p>
渡辺委員	<p>再度、確認なんですけども、そうしたデカンショポイント事業に関して特段、事業実施要領であるとか、その辺りのものについては提供はないということでもいいんですね。</p>
原田委員	<p>はい。</p>
渡辺委員	<p>分かりました。</p>
上田委員	<p>これは予算決算委員会とは関係ないんですけど、今回、総務文教分科会と民生福祉分科で資料が出ておりますが、担当の部長とも話したんですけども、今まで全然この件に関しては議会に報告もなく、議員もどのようなものかということが分からない状況であるということと、次の全員協議会できっちり説明してもらう必要があるということについて、総務企画部長には全体の枠組みや、市全体の事業に対して説明頂きたいという申入れをしています。</p>
稲山委員	<p>民生福祉分科会での審査の報告だけ改めてさせていただきます。今回のデカンショポイントの事業について、民生福祉分科会のほうでは資源ゴミの回収について報告をさせていただいたんですけども、その際に、書面で示していただいた全体計画というんですか、市で取り組む事業がいろいろあるんだけれども、年度途中からの開</p>



始になってくるというようなことで、今回は1番目に資源ゴミの拠点回収をしていきたいという説明があつて、順次、進めていきたいというような報告は受けておりますので情報共有をさせていただきます。

隅田委員

この地域ポイントの一つはボランティアをしたとか、福祉をしたとか、自分の健康のためにこういう活動をしたとかいうことでポイントがつく。また今回の資料では、出産祝い金 30 万円もポイントで付与するとか、篠山の家を建築したときの補助金もポイントで付与する。それで 30 万円をもらっても使う店がないのでは、それならば現金で欲しいと思うので、そういう人には現金を渡しますよと。そういった地域で経済を回していくというイメージは分かるんですけど、ちょっと拙速なところがあるように見受けられますので、そこを市長総括をして、もう少し体制を整えて取り組んで頂きたいというのが私の思いです。

堀毛委員長

それでは皆さんの御意見をお聞きしましたので、いかがでしょうか。この件に関しましても、先ほどのコロナワクチンと同様に予算委員会の委員長報告の中に皆さんの意見を集約したものを入れるということで御了解いただけないでしょうか。

渡辺委員

上田議長のほうもいろいろと配慮していただいているんですけども、僕も市長に聞いてもらってもいいかなと思います。

堀毛委員長

ほかの方御意見はいかがでしょうか。

隅田委員

ワクチンの件は、委員長報告でそういう懸念を示す議員がいますということでもいいと思うんですけど、この地域ポイント制度自体、市役所全部に関わるんですけど、議員が市民から聞かれても、いまいち答えられない。しかし事業が進んでいくというのでは、ちょっと拙速だと思うんです。まだ担当課からも出てきているところもあれば、案を考えておるところもあるというような状況の中で、なぜこのように拙速に事業を進めようとされるのか、その辺り市長総括していただいたほうがうれしいと思います。

安井委員

隅田委員の言われたように、直接市長に聞かれたほうが僕は、市長にもよく分かっていいんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

堀毛委員長

市長への確認質問をしてほしいという意見ですが、それでは確認質問をするということで、皆さんの賛意をいただけますでしょうか。

— 異議なし —

堀毛委員長

はい、了解いたしました。それでは、市長に確認質問をさせていただきます。それでは質問をつくるため暫時休憩を行います。

(休憩 10:28～11:30)

堀毛委員長

それでは予算委員会を再開いたします。先ほど隅田委員から提案がありました。市長への確認質問につきまして、委員の皆さんの同意が得られましたので、事務局のほうで市長の確認質問の文案を作成頂きました。読み上げますのでよろしくお願いいたします。デカンショポイントについて、本市の地域ポイントであるデカンショポイントを導入、展開していくにあたり、50店の加盟店舗と、1000人の市民に地域ポイントアプリの登録を目標とされているが、現状を見ると加盟店は10店舗だけであり、市民への事業の認知も広がっているとは言いがたい状況であると思われる。またこの事業については、市全体を挙げて様々な部署でのポイント付与を考えておられるようであり、出産一時金などを地域ポイントで付与するというような計画もあると聞いている。しかし、全体的な制度設計についても、まだ準備不足のところがあるのではないか。ついては、本事業の制度全体についての説明や今後の方向性について市長の考えをお聞きしたい。以上ですが、何か修正補足すべきところがあれば、お願いしたいと思います。

荒木委員

加盟店は、この間の記者発表のときに、11店舗で出てました。

堀毛委員長

その点については確認したいと思います。他に御意見ありましたらお願いします。この案でよろしいですか。

— 異議なし —

堀毛委員長

それではこれで市長に確認質問を行いたいと思います。それでは御意見なければ、一旦、休憩に入らせていただきます。

(休憩 11:33 ～ 13:00)

堀毛委員長

それでは休憩に引き続き、予算決算委員会を再開いたします。市長及び関係部長に御出席頂きましたので、日程第8、その他を議題いたします。ここで、分科会審査報告及び議員間討議を行った結果、予算決算委員会として、市長に総括的な質疑を行います。質問は委員長から行います。それではデカンショポイント事業について質問いたします。本市の地域ポイントであるデカンショポイントを導入し、展開していくにあたり、50店の加盟店舗と、1,000人の市民に地域ポイン

トアプリの登録を目標とされていますが、現状を見ると、加盟店は11店舗だけであり、市民への事業の認知も広がっているとは言いがたい状況であると思われます。また、この事業については、市全体を挙げて、様々な部署でのポイント付与を考えておられるようであり、出産一時金など、地域ポイントで付与するような計画もあると聞いております。しかし、全体的な制度設計について、まだ準備不足のところがあるのではないのでしょうか。つきましては、本事業の制度全体についての説明や今後の方向性について市長の考え方をお聞きいたします。

酒井市長

委員長の総括質問に答弁をさせていただきます。デカンショポイントは丹波篠山市内の加盟店で使用できる地域ポイント付与機能を有するスマートフォンアプリを導入することで、買物でポイントがたまる。市のポイント対象事業でたまる。たまったポイントは市内の加盟店で使えるといったものです。市が実施する事業の活性化を図るとともに、地域経済の循環を促すことができると考えています。市が実施します検診事業の受診者へのポイント付与や、エコ活動の参加者にポイントを付与したり、市外の関係人口の方によって地域活動を支援していただく活動にポイントを付与したりすることによって、利用者の健康意識の向上、市民活動の活性化、市外の方の地域を応援する意欲を高めるなどの効果が期待されるところです。また、現在、市から現金で支給しています助成金などもポイント化することによって、これまで市外で使われてきたものを市内加盟店で使用され、市内での地域経済循環を促すことも期待できると考えています。本事業につきましては、令和5年度より国のデジタル田園都市国家構想交付金の交付決定を受けてアプリを構築しました。令和6年度は、地域ポイントアプリを周知するための広報や加盟店舗の募集を行って、加盟店の登録を進めているところです。御質問にありましたように、加盟店舗数は現在12店舗にとどまっていますが、目標である50店舗に向けて新たな加盟店登録を増やしていきたいと考えます。説明会に参加を頂きました店舗からは、月額利用料などの加盟店負担などの課題を聞かせていただいているところで、これについて検討をしていきたいと考えます。また、加盟店登録の増加とあわせて、アプリ利用登録を市全体に広げていくために、市が実施する様々な施策にポイントを付与できるよう、市内挙げてのポイント化の掘り起こしを行って盛り上げていくよう、今後取り組んでいきたいと考えます。

堀毛委員長

ありがとうございます。これをもって市長に対する質疑を終わりたいと思います。

## 討論・表決

堀毛委員長

それでは、日程第9の表決を議題とし、これから討論を行います。討論は一括して行います。討論はありませんか。

— 委員長との声あり —

堀毛委員長

それではまず本案に反対者の発言を許します。

安井委員

私はこの補正予算に対して、衛生費の中の予防費、これは新型コロナワクチンの接種のための費用ですけども、これに関して同意できないので反対討論を行いたいと思います。この10月から高齢者を中心にワクチン接種が始まろうとしておりますが、今回の新しい新型コロナワクチンは海外で承認されていないワクチンなんです。日本だけで承認されているというワクチンということ、また、自己複製型RNAワクチン接種者の体外へ出て他者へ何らかの悪影響を及ぼすのではないかという危惧もあります。また、臨床試験での重篤な副反応の情報開示がまだ不足しているようにも思います。長くRNAの効果を持続することで、人の遺伝情報が改変されるのではないかという恐れもあります。以上4点の点からワクチンの接種を市として10月から始めるということに対して賛同できないので、この補正予算に反対いたします。

堀毛委員長

次に本案に、賛成者の発言を許します。

渡辺委員

提案頂いている一般会計補正予算全てについて賛成の立場で討論をさせていただきたいと思います。今回の補正予算につきましては、令和6年度の市政を進めていくに当たって、当初予算で定めていたものに加えて、本年度中にさらに効果を上げよう、さらには令和7年度に向けた事業の準備について挙げられたものであります。そういった意味から様々な課題も散見されますけども、大枠で議会として認めていくべきだろうと思っております。ただ、先ほどの委員長から市長に対しての質問がありました点については、議会のほうとしても懸念をしている部分であります。今後、具体的にこの事業を6年度中にどうやって進めていくのかという具体的なスケジュールが示されなかったことは非常に残念と思うわけですが、市長のほうから順次、準備を鋭意進めているということでございますので、その辺りにつきましては、この補正予算決定後も、きちりと、どういう形でデジタルポイントの事業を進めていくかについては、議会のほうに一度説明を頂けるものというふうに理解を

して、本案について賛成をさせていただきたいと思います。委員の皆様におかれましては、御賛同賜りますようよろしくお願いいたします。

堀毛委員長

次に、本案に反対者の発言を許します。

次に、本案に、賛成者の発言を許します。

以上で討論なしと認めます。これで討論を終わります。

堀毛委員長

つづいて、採決を行います。

議案第60号 令和6年度丹波篠山市一般会計補正予算（第5号）

－ 賛成多数で可決 －

議案第61号 令和6年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

議案第62号 令和6年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第63号 令和6年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第1号）

議案第64号 令和6年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第1号）

議案第65号 令和6年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第1号）

－ 賛成全員で可決 －

堀毛委員長

委員会の審査報告については、正副委員長に一任願いたいですが、ご異議ありませんか

－ 異議なし －

堀毛委員長

本日の会議は会議記録については、事務局に調製させ、委員長、副委員長において内容確認を行いたいと思います。また、委員会の審査報告についてもご一任願いたいですが、御異議ありませんか。

－ 異議なし －

降矢副委員長 挨拶

堀毛委員長 散会宣告

13:18 散会